

**分析結果報告書 [7] 共通試料1 (模擬水質試料: 一般項目等)
分析方法等 【全欄】**

の色が付いた回答欄に選択肢番号をご記入ください。
 の色が付いた回答欄に自由回答をご記入ください。
 の色が付いた回答欄に数値を半角でご記入ください。

○ のような図形で選択肢を囲んでも結果には反映されません。

例: 1. 1未満 2. 1以上2未満 3. 2以上5未満 4. 5以上10未満 5. 10以上

分析主担当者

↓ 回答欄

経験年数(年)		1. 1未満 2. 1以上2未満 3. 2以上5未満 4. 5以上10未満 5. 10以上
実績(年間の分析試料数)		1. 50未満 2. 50以上100未満 3. 100以上200未満 4. 200以上500未満 5. 500以上
分析(主)担当者以外の分析結果の確認		1. あり 2. なし

分析方法等

分析開始までの試料保存日数(日)		日
分析開始から終了までの日数(日)		日
分析方法 注)		1. ペルオキシ二硫酸カリウム分解法 2. 硝酸-過塩素酸分解法 3. 硝酸-硫酸分解法 4. 流れ分析法 5. その他
5. その他(右のセルにご記入ください)		
分析に使用した水		1. 蒸留水 2. イオン交換水 3. 超純水 4. その他
4. その他(右のセルにご記入ください)		

注)「流れ分析法」とは、FIA(フローインジェクション分析)及びCFA(連続流れ分析法)を指す。

試料の保存状況

保存方法 注)		1. 冷蔵所保存 2. 保存しない(直ちに分析) 3. その他
3. その他(右のセルにご記入ください)		
保存温度(°C)		°C

注) 冷蔵保存、冷凍保存は冷蔵所保存に含む

希釈操作(実施要領では10倍希釈となっています)

共通試料分取量(mL)		mL
希釈溶媒		1. 0.1 mol/L硝酸 2. その他
2. その他(右のセルにご記入ください)		
定容量(mL)		mL

ペルオキシ二硫酸カリウム分解法

希釈試料分取量(mL)		mL (10倍希釈後の試料の量を記入する。)
分解瓶中の試料定容量(mL)		mL
ペルオキシ二硫酸カリウム溶液の添加量(mL)		mL
分解瓶の種類		1. 四フッ化エチレン樹脂製の瓶 2. 耐熱・耐圧ガラス製の瓶
分解瓶の容量(mL)		mL
加熱分解温度(°C)		°C
加熱分解時間(分)		分
加熱分解後の溶液の分取量(mL)		mL
モリブデン青の溶媒抽出		1. 行わない 2. DIBKで抽出 3. その他
3. その他(右のセルにご記入ください)		
抽出に使用した溶媒量(mL)		mL(モリブデン青の溶媒抽出を行った場合に記入する。)
吸収セルの光路長(mm)		1. 50 2. 10 3. 20 4. 30 5. その他
5. その他(右のセルにご記入ください)		mm
測定波長(nm)		1. 880 2. 710 3. 890 4. その他
4. その他(右のセルにご記入ください)		nm

硝酸-過塩素酸分解法

希釈試料分取量(mL)		mL (10倍希釈後の試料の量を記入する。)
硝酸の使用量(mL)		mL
過塩素酸の使用量(mL)		mL
加熱分解(中和)後の定容量(mL)		mL
加熱分解後の溶液の分取量(mL)		mL

モリブデン青の溶媒抽出		1. 行わない 2. DIBKで抽出 3. その他
3. その他(右のセルにご記入ください)		
抽出に使用した溶媒量(mL)		mL(モリブデン青の溶媒抽出を行った場合に記入する。)
吸収セルの光路長(mm)		1. 50 2. 10 3. 20 4. 30 5. その他
5. その他(右のセルにご記入ください)		mm
測定波長(nm)		1. 880 2. 710 3. 890 4. その他
4. その他(右のセルにご記入ください)		nm

硝酸-硫酸分解法

希釈試料分取量(mL)		mL (10倍希釈後の試料の量を記入する。)
硝酸の使用量(mL)		mL
硫酸(1+1)の使用量(mL)		mL
加熱分解(中和)後の定容量(mL)		mL
加熱分解後の溶液の分取量(mL)		mL
モリブデン青の溶媒抽出		1. 行わない 2. DIBKで抽出 3. その他
3. その他(右のセルにご記入ください)		
抽出に使用した溶媒量(mL)		mL(モリブデン青の溶媒抽出を行った場合に記入する。)
吸収セルの光路長(mm)		1. 50 2. 10 3. 20 4. 30 5. その他
5. その他(右のセルにご記入ください)		mm
測定波長(nm)		1. 880 2. 710 3. 890 4. その他
4. その他(右のセルにご記入ください)		nm

流れ分析法

測定方法		1. JIS K 0170-4 の 7.3.3(酸化分解前処理モリブデン青発色 FIA 法) 2. JIS K 0170-4 の 7.3.5(酸化分解前処理モリブデン青発色 CFA 法) 3. その他
3. その他(右のセルにご記入ください)		
測定装置-メーカー		1. ビーエルテック 2. 日東精エアナリテック 3. その他
3. その他(右のセルにご記入ください)		
加水分解及び酸化分解率の確認-ニリン酸カリウムの加水分解及び酸化分解率(%)		% (酸化分解率を求めている場合に記入する。)
加水分解及び酸化分解率の確認-ピロキサル5-リン5酸-水和物の加水分解及び酸化分解率(%)		% (同上)
加水分解及び酸化分解率の確認-フェニルリン酸二水素ナトリウムの加水分解及び酸化分解率(%)		% (同上)
繰り返し性の確認-繰り返し回数		回(検量線の間濃度の標準液を用いて繰り返し測定して繰り返し性(相対標準偏差、CV%)を求めている場合に記入する。)
繰り返し性の確認-繰り返し性CV(%)		%(同上)
測定波長(nm)		1. 880 2. 800 3. その他
3. その他(右のセルにご記入ください)		nm

標準液

メーカー名		1. 富士フイルム和光純薬 2. 関東化学 3. その他 4. 自社調製
3. その他(右のセルにご記入ください)		2
使用時の濃度保証		1. 保証期間内 2. 保証期間超過
Lot番号		

定量方法・下限値

定量方法		1. 絶対検量線法 2. 標準添加法 3. 内標準法
検量線作成点数		
検量線の単位		1. µg 2. mg/L 3. その他
3. その他(右のセルにご記入ください)		
検量線最低濃度		
検量線最高濃度		
検量線最低濃度応答値		(吸光度、信号強度等。複数測定の場合は平均値)
検量線最高濃度応答値		(同上)
空試験応答値		(同上、標準添加法では記入しない。)
試料応答値 1回目		(吸光度、信号強度等)
試料応答値 2回目		(同上)
試料応答値 3回目		(同上)

装置検出下限値(ILOD) (mg/L)		mg/L (試料中の濃度を示す)
ILOD算出方法		1. JIS K 0126(流れ分析通則)附属書 A に記載されている方法 2. 3σ法で計算 3. その他
4. その他(右のセルにご記入ください)		
ILOD-σ の算出: 繰り返し測定濃度の濃度 (mg/L)		mg/L
ILOD-σ の算出: 繰り返し測定回数(回)		回
分析法定量下限値(MLOQ) (mg/L)		mg/L (試料中の濃度を示す)
MLOQ算出方法(JIS K 0133ではLOQ)		1. JIS K 0126(流れ分析通則)附属書 A に記載されている方法 2. 10σ法で計算 3. その他
4. その他(右のセルにご記入ください)		
MLOQ-σ の算出: 繰り返し測定濃度の濃度 (mg/L)		mg/L (試料中の濃度を示す)
MLOQ-σ の算出: 繰り返し測定回数(回)		回

分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点	
計算式	